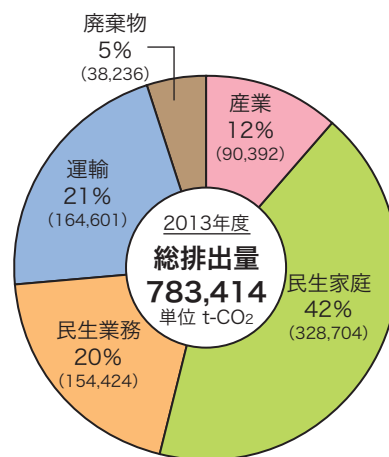
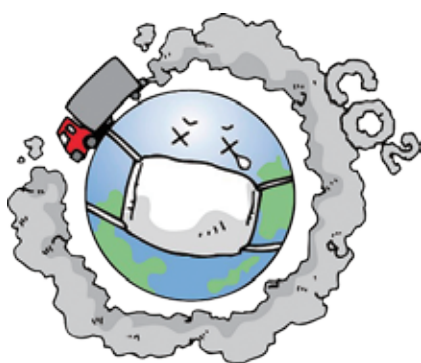


## 本市の温室効果ガス排出特性について

平成25年度（2013年度）における市域の温室効果ガス排出量は約783千t-CO<sub>2</sub>（右図参照）となっています。CO<sub>2</sub>排出量の内訳から、本市では特に民生家庭部門及び民生業務部門の割合が大きく、産業部門が小さいことが分かります。



## 本市の温室効果ガスの削減目標について



本市の長期目標値は、上位計画である環境基本計画に示される方針に沿い、基準年1990年度（平成2年度）と比較して2050年度に50%削減となる333千トン-CO<sub>2</sub>とします。この目標値は、長期目標値の通過点として、本計画では2020年度の目標値を523千トン-CO<sub>2</sub>としています。これは基準年と比較して22%削減となります。これらの目標を達成するためには、市内で活動するすべての主体が、温室効果ガスの削減に向けて一丸となり、積極的に取り組むことが必要です。

## 「宝塚エネルギー 2050 ビジョン」との関係・考え方について

本市では太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を進めていくためのビジョンとして「宝塚エネルギー2050ビジョン」を策定しています。このビジョンでは「みんなでつくろう 宝塚エネルギー～再生可能エネルギー・省エネルギーで たからづかをもっとずっと げんきに～」をキーワードに、省エネルギーを進め、エネルギー消費量を減らした上で、再生可能エネルギーによるエネルギーの自給率を上げることなどを長期目標として掲げています。

地球温暖化対策実行計画は、温室効果ガス削減の観点から省エネ・創エネを進めることとしており、再生可能エネルギーの利用促進を図ることなどを掲げる「宝塚エネルギー2050ビジョン」に連動した密接に関係する持続可能なまちづくりのための計画です。

